

令和4年度事業報告

1. 概 要

令和4年度は、長期化する新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまでの施策を十分に実施できなかったものの、定時総会の縮小開催や職員研修のオンライン参加など、ウィズコロナに対応しながら、様々な事業活動に取り組みました。

令和4年度の会員数は、コロナに加え、3年度限りの会費免除（継続会員のみ）の影響もあり、前年度比較142人減の4,266人となりました。

契約金額については、受託事業は、契約金額999,763,221円 前年度比較2,875,558円、0.3%の減、派遣事業は、756,888,670円 前年度比較43,395,573円、6.1%の増、合計で1,756,651,891円 前年度比較40,520,015円、2.4%の増となり、過去最高の実績となりました。

就業率については、前年度比較1.5ポイント増の77.5%となりました。

令和4年度実績 前年度比較

(単位：人、件、円、%)

区 分		3 年 度	4 年 度	増 減	前年度比率
会 員 数 (年度末)	男 性	2,603	2,514	△89	96.6
	女 性	1,805	1,752	△53	97.1
	計	4,408	4,266	△142	96.8
契 約 件 数	受託事業	24,828	24,416	△412	98.3
	派遣事業	4,770	4,841	71	101.5
	計	29,598	29,257	△341	98.8
契 約 金 額	受託事業	1,002,638,779	999,763,221	△2,875,558	99.7
	派遣事業	713,493,097	756,888,670	43,395,573	106.1
	計	1,716,131,876	1,756,651,891	40,520,015	102.4
就 業 延 人 員	受託事業	209,325	205,085	△4,240	98.0
	派遣事業	149,970	158,164	8,194	105.5
	計	359,295	363,249	3,954	101.1
就 業 実 人 員	受託事業	2,386	2,309	△77	96.8
	派遣事業	966	997	31	103.2
	計	3,352	3,306	△46	98.6
就 業 率		76.0	77.5	1.5	

※就業実人員の派遣事業は、派遣就業のみ従事した人数

2. 実施事業

(1) 就業開拓及び就業率の向上

- ① 就業推進グループによる事業所を中心とした積極的な就業開拓活動を行うとともに、グループ内の契約目標額を定め、毎月その達成状況を確認するなど、徹底した進行管理を行いました。

目標額	730,000,000円
実績額	756,888,670円
目標達成率	103.7%

- ② 総務課、業務推進課、生活・就労支援センター、会員困りごと相談窓口、ジョブコーディネーター間の連携を図り、受託・派遣に係る就業先と会員とのマッチング等を効率的に行い、就業拡大に努めました。
- ③ リピーター対策として、剪定、草刈、草取、生活支援の発注者（実績3年度あり、4年度なし）に対し、発注のお礼と受注依頼文書を送付し、受注拡大を図りました。

送付件数 2,891件

- ④ センターへの仕事の発注が期待される企業・法人等に対し、発注依頼文書を送付し、連絡があった企業等を訪問するなど、重点的な就業開拓を行いました。

8月 商工会議所の広報チラシ折込み (6,300件)

11月 卸売業関係 (155件)、印刷業関係 (96件)

2月 不動産関係 (395件)

- ⑤ サービスの質の向上を図るため、剪定、草刈、草取、生活支援、支部を対象に、顧客満足度調査を実施し、9割近くの方から「今後も利用したい」との回答がありました。

送付件数 500件 回答件数 193件

- ⑥ 民生委員・児童委員等との連携による地域に根差した生活支援サービスを提供するため、サービスの担い手となる会員を養成する研修会等を開催しました。
- ⑦ 鹿児島市と連携し、市内の空き家の管理、墓掃除等のサービス提供を実施しました。

令和4年度市外からの受注実績

空き家管理（剪定、草取り等含む） 649件 16,117,631円

墓守・墓掃除 121件 1,575,365円

- ⑧ 新規の就業開拓を行った会員へ報奨金を交付しました。

交付実績 31件

- ⑨ ジョブコーディネーターを配置し、未就業者等への就業案内や入会希望者へきめ細かい説明を行うなど、未就業者対策の強化及び新規入会の促進に努めました。
- ⑩ ホームページを随時更新し、常に新たな就業情報等の提供に努めたほか、入会説明会終了時、入会手続きされた方に就業案内を行うなど、就業率の向上に努めました。
- ⑪ お客様からの注文受付が24時間365日可能なインターネット申込「たすか〜る」事業を行いました。
受付件数 326件
- ⑫ 鹿児島市の指定管理者として、「東千石・山之口・中町自転車等駐車場」、「すこやかランド石坂の里」、「さくらじま白浜温泉センター」については、施設の適正管理に努めました。
- ⑬ 就業開拓にあたっては、既発注者の掘り起こしや会員の希望の多い職種等を強化するとともに、就業会員による就業先でのチラシ配布など、センター事業のPRに努めました。
- ⑭ 国の補助金（SCトライアル奨励事業）を活用して、新たな介護施設（6施設）の就業機会の創出を図りました。

（2）会員の拡大及び資質の向上

- ① 出前入会説明会を谷山地区で開催し、会員の加入促進及び就業案内に努めました。

	開催日	場 所	参加者	入会者
谷 山	5 . 2 . 14	谷山市民会館	20人	15人

- ② 毎週水曜日の高齢者失業認定日に「ハローワークかごしま」を訪問し、来訪者への入会促進を積極的に図りました。
- ③ 会員拡大、就業拡大を図るため、シルバー広報用チラシを作成し、6月、10月に地元紙に折り込み広告を行ったほか、1月には市広報紙「市民のひろば」に広告掲載を行い、市内全世帯に配布しました。
- ④ 県連合会が受託している高齢者活躍人材確保育成事業を活用した各種講座会場に出向き、市民への積極的な入会促進を図るとともに、既存会員に対する就業相談を行いました。

講習内容	開催月	修了者	入会者
剪定・整枝講習	6月	19人	13人
店舗スタッフ講習	7月	14人	1人
介護施設生活支援補助スタッフ講習	9月	12人	6人
宛名・賞状記名講習	9月	22人	9人
草刈り（機械刈）講習	10月	20人	10人
介護施設生活支援補助スタッフ講習	11月	8人	1人
計		95人	40人

(未入会者26人、既存会員29人)

- ⑤ 8月から9月を「入会促進キャンペーン月間」とし、積極的な広報活動を行ったほか、この期間に入会した方へ粗品をプレゼントするなど、入会促進を図りました。

また、入会者が減少する1月以降については、会費の減免措置を行うなど入会促進を図り、早期の就業につなげる取組みを行いました。

8～9月入会者 84人

1～2月入会者 104人

3月入会者 81人

- ⑥ シニア世代活躍支援セミナーを開催し、セミナー終了後に入会手続きや就労相談等を行うなど、入会促進を図りました。

期 日 令和4年11月12日（土）

場 所 勤労者交流センター

講 師 ファッション&ウオーキングアナリスト 赤岩 廣志 氏

参加者 34人（入会者22人）

- ⑦ 女性限定入会説明会を開催し、女性会員向けの就業案内や女性会員の活動紹介、アンテナショップ「おじゃったもんせ」の出張販売、ひまわり劇団による演芸や化粧品会社の講師による「メイク講座」を実施するなど、女性会員の入会促進に努めました。

期 日 令和4年6月23日（木）、令和5年1月26日（木）

場 所 シルバー人材センター 大会議室

参加者 39人（入会者37人）

- ⑧ 会員が市民を誘って参加する「シルボンヌイベント体験事業」を5回開催し、センターの周知及び入会促進を図りました。

	イベント	開催日	場 所	参加者(人)		
				市民	会員	計
1	初心者のスマホ教室	6/14	鴨池公民館	5	9	14
2	キャンプ飯づくり	10/26	かんまちあ	10	8	18
3	料理教室	11/18	県民交流センター	5	9	14
4	歩こう会	11/22	甲突川付近	4	11	15
5	初心者のスマホ教室	12/8	よかセンター	2	11	13
計				26	48	74

- ⑨ 年金支給日に各支部の金融機関前でチラシ配布を行うなど、支部の会員拡大に努めました。

- ⑩ 鹿児島市役所「生活・就労支援センターかごしま」内の当センター常設窓口で入会相談等を行いました。

相談受付件数 565件

- ⑪ 入会説明会、高齢者活躍人材育成事業講習会等において、入会に至らなかった方をシニアパートナーとして登録し、情報発信等を通して入会促進を図るとともに、就業を希望しない会員については、互助会や地域活動に参加できるプラチナ会員制度の周知に努めました。

シニアパートナー登録者数 1人

プラチナ会員登録者数 20人

- ⑫ ハローワークでの入会勧奨活動を行ったほか、引き続き会員による入会促進を図るため、正会員入会報奨金を交付しました。

交付実績 11件

- ⑬ 会員の後継者育成と技能向上を図るため、各種研修会を実施しました。

(3) 適正就業の推進

- ① 令和4年度は、「無理と無茶 焦る心が事故を呼ぶ 今日楽しく安全就業」をスローガンに、法令遵守はもとより「適正就業に関する基準」に基づき適正就業の推進に努めました。
- ② 職群班である駐輪・駐車班、公園清掃、墓地清掃、運搬班を通じ適正就業の意識が会員へ広く浸透するよう周知を図るとともに、会員の募集にあたっては、募集要項をホームページや庁舎内に掲示したほか、ジョブコーディネーター及び生活・就労支援センターを活用して、多くの会員への周知を図りました。
- ③ 継続就業が決定した会員に対し、就業同意書の提出や就業期限確認書を交付するなど、適正就業の推進を図りました。

(4) 事業推進体制の強化

- ① 育休等代替職員の確保など労働環境整備のため総務課に1人増員するとともに、無期雇用職員2人が正職員へ昇格しました。
- ② 会員の就業相談体制（マッチング）の強化を図るため、未就業者等へのきめ細かな対応を目的とした、未就業者等割当制を実施しました。
1,186人に連絡し364人（30%）が就業
- ③ 就業開拓や事務局での電話対応、電算入力業務など、事務量の増加等に対応するため、積極的な会員活用を図りました。
- ④ 最低賃金の見直し等に伴い、令和4年4月から配分金（受託）の改定を、10月から賃金（派遣）の改定を行いました。
- ⑤ センターの事業運営の概況等について、地域班会等で会員へ情報提供しました。
- ⑥ 全シ事業協会、九シ連絡協議会、県シ連合会等の研修会等に役員、職員がオンライン等で参加しました。
- ⑦ 職群班の相互の連携及び情報共有を図るため、職群班統括班長会議を開催しました。
- ⑧ 会員への情報発信の充実を図るため、携帯電話でのショートメッセージ一括送信サービスを令和4年度から開始し、熱中症予防や配分金支払日等の情報提供を行いました。
- ⑨ 市民サービスの向上を図るため、支部の繁忙期（7月～12月）の運営体制を充実しました。

(5) 安全就業の推進

- ① 毎月1日「安全就業宣言の日」に、事故事例や交通安全の注意喚起、季節ごとの健康に関する情報等を掲載した「安全ニュース」を発行し、会員の安全就業に対する意識の啓発を行いました。
- ② 安全適正就業委員会を開催し、発生事故の原因解明や再発防止策の検討を行ったほか、賠償事故については、「会員の事故防止に資するための措置要領」に基づき、当該会員へ文書注意等の処置を行いました。
- ③ 安全就業の推進を図るため、安全適正就業委員会の委員及び職員による予告なしの安全パトロールを実施し、機械、器具等の使用上の注意や現場での留意事項について指導を行うなど事故の未然防止に努めました。

安全パトロール実施状況 27回

- ④ 草刈作業における飛び石事故防止のため、両刃回転式刈払機「カルマー機」の使用を推奨しました。
- ⑤ 派遣の労働災害事故防止等を図るため、「派遣ニュース」を2回（9月、3月）発行し、派遣就業会員に配付しました。

発行数 1,812枚発行

- ⑥ 派遣会員の安全と健康を保持するための衛生委員会を3回開催し、労働災害事故の検証等を行いました。

開催日 6月16日、10月20日、2月16日

- ⑦ 高齢者による交通事故が増加傾向にあることから、派遣の運転業務に係る会員の運転適正検査を義務化し、実施しました。
- ⑧ 職群班及び各支部、合同班会等において、事故の発生状況等を報告するとともに、安全講習会を開催しました。

参加者数 職群 603人、支部 163人 計 766人

- ⑨ 安全意識の高揚につなげるための安全就業に関する標語募集に93点の応募があり、優秀作品6点を選定するとともに、最優秀作品については、事務所内の掲示や毎月発行の「安全ニュース」に掲載するなど、会員、職員の安全就業に対する意識啓発に活用しました。
- ⑩ これらの対策を講じたことにより、令和4年度の発生事故は、傷害、賠償事故合わせて受託事業が31件、派遣事業が22件 計53件となり、前年度に比べ18件減少しました。

事故発生状況 年度別推移

(単位：件)

区 分		元年度	2年度	3年度	4年度	対前年増減
受託	傷 害	12	22	15	14	△1
	賠 償	15	22	26	17	△9
	計	27	44	41	31	△10
派遣	傷 害	7	17	14	14	0
	賠 償	4	11	16	8	△8
	計	11	28	30	22	△8
計	傷 害	19	39	29	28	△1
	賠 償	19	33	42	25	△17
	合 計	38	72	71	53	△18

月別事故発生状況

(単位：件)

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
受託	傷 害	0	0	1	2	2	1	3	2	1	0	2	0	14
	賠 償	2	0	1	1	3	1	2	1	3	0	2	1	17
	計	2	0	2	3	5	2	5	3	4	0	4	1	31
派遣	傷 害	0	1	1	2	3	1	0	0	2	2	2	0	14
	賠 償	0	1	0	1	0	0	2	1	1	0	0	2	8
	計	0	2	1	3	3	1	2	1	3	2	2	2	22
計	傷 害	0	1	2	4	5	2	3	2	3	2	4	0	28
	賠 償	2	1	1	2	3	1	4	2	4	0	2	3	25
	合 計	2	2	3	6	8	3	7	4	7	2	6	3	53

事故の内訳

【傷害事故】

(単位：件)

区 分	骨 折	裂 傷	熱中症	打 撲	その他	計
受 託	8	1	0	1	4	14
派 遣	3	0	0	11	0	14
合 計	11	1	0	12	4	28

【賠償事故】

(単位：件)

区 分	剪定(接触)	草刈(飛散)	車両(物損)	草刈(接触)	その他	計
受 託	5	4	4	3	1	17
派 遣	0	0	1	0	7	8
合 計	5	4	5	3	8	25

(6) 独自事業の推進

- ① 「ワンコインまごころサービス」については、市の支援を受けながら、高齢者世帯のごみ出し等のサービスを実施しました。

延利用回数（年間）

100円 10,573回

500円 208回

- ② アンテナショップ「おじゃったもんせ」では、9月の10周年記念イベント開催をはじめ、会員手作りの野菜や手芸品、賛助会員の特産品等販売のほか、センターでの「女性限定入会説明会」や「年末物品販売」において、出張販売を行いました。

総売上額 2,776,798円

- ③ 会員の健康保持を図るため、市場価格より廉価で購入できる家庭常備薬等の斡旋販売を行いました。

斡旋販売額 339,390円

- ④ 年末物品販売については、毎年恒例の会員手づくりの桜島小みかん、乾燥しいたけ、米など多数の商品や、賛助会員からのギフト商品販売のほか、新鮮野菜等の当日販売も行いました。

販売商品数 23品目

販 売 額 420,020円

当日販売額 56,750円

- ⑤ 桜島フェリーターミナル内の「ほほえみサロン」では、センターの情報発信の場として、市民、会員向けの講座を開催するとともに、「会員困り事相談窓口」を月1回開設し、会員からの相談に対応しました。

講 座 5回開催 74人参加

困り事相談窓口 相談者数 20人

(7) 普及啓発活動の推進

- ① 入会説明会やイベント等の案内について、市広報紙「市民のひろば」、地元紙、地域情報誌、折り込みチラシなどを活用して積極的な広報に努めました。
- ② 求人やイベント等の情報をリアルタイムで発信するなど、ホームページによるタイムリーな広報宣伝に努めました。
- ③ 会員の多才な芸能や技能を活用し、福祉施設等を訪問する「ひまわり劇団」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けましたが、市民の皆さんに喜んでいただき、当センターの活動をアピールすることができました。

活動状況 4月～2月 訪問回数 10回 訪問延べ会員数 61人

- ④ 当センターの事業等についての情報発信として、会報「かごしまシルバーだより」第79号（4月）、第80号（10月）を発行し、全会員へ送付しました。
- ⑤ センター活動の宣伝、啓発等を図るため、9月から10月に山形屋3階ブリッジギャラリー及び鹿児島市役所東別館1階市民ギャラリーで、会員50人・同好会（希楽会）の作品83点やセンター事業の概要等を展示、紹介しました。
- ⑥ 事業案内や就業拡大のため、センターの会報誌及びチラシを市役所、各支所、高齢者福祉センター、各地域公民館等69施設に送付しました。
- ⑦ 各地域班において、清掃等のボランティア活動にのぼり旗を掲揚し、市民への啓発に努めました。